

## 平成30年度 第1回 第6期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

- 【日時】 平成30年6月28日(木) 午後7時05分～8時
- 【場所】 市役所西棟8階 811会議室
- 【出席委員】 山谷修作(委員長) 荻野芳明 金井憲一郎 加藤慎次郎  
(敬称略) 木村文子 沢村哲志 西上原節子 吉安晶子
- 【事務局】 ごみ総合対策課長 クリーンセンター所長 ほか
- 【欠席】 田口誠(副委員長) 能勢方子 松井理依子 新垣俊彦 花俣延博  
茂木勉
- 【傍聴】 なし
- 【配付資料】
- ・クリーンセンター不燃・粗大ごみ処理施設内発煙について【資料1】
  - ・ごみ収集見直しの中間とりまとめ(武蔵野市ごみ収集のあり方等検討委員会)  
【資料2】
  - ・平成29年度一般廃棄物処理基本計画事業取組【資料3】

### 1 開会

平成30年度の開催にあたり、委員の交代等について、環境部参事木村から人事異動で後任として荻野に交代する。

### 2 報告事項

#### (1) クリーンセンター不燃・粗大ごみ処理施設内発煙について

【事務局】 配付資料1『クリーンセンター不燃・粗大ごみ処理施設内発煙について』を説明。

【委員長】 施設の処理休止の期間はどれくらいか。

【事務局】 大きな被害はなかったため、翌日から処理は通常通りに行っている。

【委員】 コンベヤ上部の発煙で、ここまでスプリンクラーが届かなかったとのことだが、スプリンクラーは増設する予定か。

【事務局】 粗破碎コンベアにはスプリンクラー4か所増設し、小さな炎でも検知でき、検知したらすぐにスプリンクラーが稼働し、コンベアを水浸しにする機能としている。工事が終わるまでは、中間地点(▲地点)で監視員を配置し監視し、発煙があれば直ちに消して、コンベアを止める措置を講じていた。工事は終わったが、監視は当面継続する。

【委員】『運営協議会だより』に今回の事故特集をするが、ごみ袋の展開検査でどのくらいの乾電池が出てきたのか。

【事務局】 20日の展開検査の結果では、約10tのごみの中からアルカリ乾電池、若干の小型ライター、10kgぐらいのリチウム乾電池が内蔵されている電気カミソリなど150kgぐらい出てきた。ごみ全体の1%～1.5%程度ぐらい。ほとんどが収集時の展開検査で出てきているので、ほぼ収集時点で発見できている。

## (2) 武蔵野市ごみ収集のあり方等検討委員会の中間とりまとめの公表について

【事務局】 配付資料2『ごみ収集見直しの中間とりまとめ（武蔵野市ごみ収集のあり方等検討委員会（以下「あり方検討会」という。））』について説明。

【事務局】 見直しスケジュールの説明。『ごみ収集見直しの中間とりまとめ』は6月1日～6月15日までパブリックコメントを実施し、19名の方から50～60件の意見があった。あり方検討会でパブリックコメントの意見を踏まえ、答申をとりまとめ、7月中に市長に答申を行う。答申が終わったら、市は答申内容を踏まえ、行政として見直しの早期実現を考えている。

【委員】 反対意見もあったと思うがどうか。

【事務局】 まだとりまとめていないが、意外と賛成意見が多かった。反対意見としては

- ・小さなマンションでごみ置き場が狭く、収集回数が減るとごみ置き場からあふれる。
- ・ごみ収集は市税を納めている市民にとって身近な行政サービスである。びん、缶、ペットボトルなど明確なコストなどの理由がないにもかかわらず、収集頻度を落とすことは、納得できない。
- ・衛生面の問題を市が家庭に押しつけることになっている。

など。最終報告書にはいただいた意見は要旨をすべて公表する。

【委員】 私も意見を出した。検討の進め方が悪い。市民への説明がないのに、この乱暴な進め方では混乱する。周りの人もほとんどこのパブリックコメントの実施を知らない。こんなことでまともなパブリックコメントが出てくるのか。細かい内容の話より、この進め方に問題があると思っている。今後の進め方は市がもう少し丁寧に、市民の意見をとり上げて進めていってほしい。しっかり情報を公開して、困っているところの話をきちんと聞いて進めて欲しい。

【委員長】 検討をおこなったのは、この委員会ではなく、かなり専門的なことがらを検討する委員会を設けて、集中的に検討されている。その委員会の報告書が昨年度発表されている。それを踏まえて、さらに検討して、中間とりまとめが今回出てきた。その内容は具体的に収集のあり方をどう見直すかが含まれており、市民の皆さんに意見を6月の半月ぐらいで募集したという経緯である。

【委員】 市民にどこで説明しているのか。ほとんど周囲の人は知らない。まず市民にもっと情報を公開してほしい。あまりに市民が知らなすぎる。もっと市民の意見を吸い上げて、市民に少し分かせてほしい。

【委員長】 これからいろいろ説明会とかあると考えていいのか。

【事務局】 市民にどう周知を進めて行くか、説明するかが大きな課題と考えている。中間とりまとめを公表はしているところであるが、それを伝えていくことがなかなか難しい。いかに広めていく、工夫が必要と考えている。

【委員長】 パブリックコメントは50～60件と多いコメントが寄せられた。意見に丁寧に対応することをお願いする。

【委員】 「あり方検討会」では市民の目、事業者の目など違う目を受けて一生懸命3年近く考えてきた。それを市民に途中段階での周知はできないと思う。ごみについてクリーン

むさしのを推進する会に説明に行き、意見を聞き、また検討して、事業者にも意見を聞いて、集団回収も考慮し、やっとの思いでとりまとめた。やっとならばパブリックコメントという中で、課題がでたら、また検討する委員会だと思っている。

【委員長】パブリックコメントを実施したのは市か。

【事務局】「あり方検討会」からの報告を受けて市が取りまとめをおこなう。

【委員長】「あり方検討会」と市が連携して誠実にやっていただけたらと思う。

### 3 議題

#### (1) 平成 29 年度の取組の実施状況報告と平成 30 年度の取組予定

【事務局】配付資料 3『平成 29 年度一般廃棄物処理基本計画事業取組』について重要な項目の要点を説明。

補足として、クリーンセンターの発煙を受けて小型家電の収集の見直しが課題となっている。「あり方検討会」で議題として取り上げる必要がある。それも含めてごみ収集のあり方の報告を取りまとめていく。「あり方検討会」の検討結果を市が施策として取りまとめて、改めてこの市民会議で、検討していただき計画に反映すべきことと思っている。また、安全・安心な施設づくりには収集・運搬も含まれると考えており、市として知恵を絞って力を尽くしていく。

【委員】6月12日の事故を受けて収集内容物の確認の強化とあるが、有害ごみの指定袋はないか。

【事務局】リチウム電池の本来の捨て方は、有害ごみの日に赤い有害ごみ袋か、透明・半透明の袋に「有害ごみ」と書いて出す。赤い有害ごみ袋はごみ総合対策課や各市政センター、各コミュニティーセンターで無料配布している。最近は充電式の製品が増えており、電池が内蔵され、取り外せない形になっている。

【委員】それが徹底されていない。有害ごみが増えていると考えると、コンビニで指定袋を売るのはどうか。袋を買って出すようにしたらどうかと思う。

【事務局】リチウム電池等による事故は当初の想定を超えている。市民に分かりやすく広報して、きちんと有害ごみを出してもらい、クリーンセンターを守って行く。

【委員】有害ごみ袋は無料でもらえるが、どこでもらえるか分からない。地区の防災訓練でリチウム電池の出し方を周知した。市民に知らせる機会があれば、知らせていきたい。有害ごみ袋は簡単に手に入るようにしていただきたい。

【委員】有害ごみ袋が大きすぎる。少量をその袋で出だすか、貯まるまで保管するか。そういう不便さを感じている。

【事務局】充電電池が有害であることのわかりにくさがある。市は出しやすいと思っていたが、赤い袋の無料配布を知らない人がいる。また、充電電池が入っているものを有害ごみに出さなければならぬことも知られていない。当たり前だと思っていることがそうでもないことを認識しないといけない。

【委員長】クリーンセンターの中に不燃ごみの処理施設がある。多摩の多くの自治体では、ベルトコンベヤに不燃ごみを乗せて選別しているが、武蔵野市ではやっているか。

【事務局】クリーンセンターは焼却施設と別に不燃・粗大のピットがあって、ベルトコン

ベヤに運ばれ、その後破砕機で破砕する。その後手選別工程はなく、全部破砕ごみから選別機で鉄とアルミを回収して、それ以外は可燃ごみとして処理する。

【委員長】目視でチェックする工程はあるか。

【事務局】目視は収集場所で行う。クリーンセンター内では、ピットに貯留した後にクレーンでつまんでコンベヤに入ってくる段階で、モニターで確認している。

【委員長】モニターで確認であれば、その場で除くことはできない。

【事務局】パブリックコメントは原則として、「あり方検討会」が市民から意見をいただきそれを検討し、それを市がとりまとめる。それからもう一度「あり方検討会」にフィードバックする。

行政としてPRや啓発は苦手なところ。いろんな意見を吸い上げるようにいろんな工夫をしているが、万全ではない。市民にちゃんと伝わるようなPRを考えていく。

【委員長】パブリックコメントはなかなか市民に届かない。市民の目に触れる機会を増やしていただきたい。

【事務局】実施状況報告と取り組み予定はどうしても内容が平板でわかりにくいところがあると思うが、市側の考え方として、計画内の施策を網羅した状況を出すことに意味があると思っている。行政が何をしているか、確認いただき、ご意見をいただきたい。

【委員】一覧表はいいと思う。一般の市民の方に見せたいとき、どうすれば手にはいるか。

【事務局】本市民会議の配付資料としてホームページで公開する。必要であれば、ご相談いただきたい。

## （２）一般廃棄物処理基本計画の改定スケジュールについて

【事務局】3月にはまとまった計画書ができる。武蔵野市ごみ収集あり方等検討委員会の報告書の内容を反映した状況で、本市民会議で検討いただく。2か月に1回程度開催する。今後、小型家電の取り扱いが課題になる。

【事務局】次回の開催は、8月答申を受けて9月を目処に開催させていただきたい。

## （３）その他

【事務局】次回の開催は、後日委員の皆様のご都合を伺い決める。

## 4. 閉会